



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2015.9

No.377

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



新ホームページの使い勝手はいかがでしょう？

新ホームページは昨年9月にリニューアルされ、翌10月にスタートしています。

IT委員会



日本野鳥の会 埼玉



埼玉県のマスコット「コバシ」です。

私たちは、自然にあるがままの野鳥に接し楽しむ機会を創り、また野鳥に関する科学的な知識と適正な保護思想を普及することにより、埼玉県民の間に自然尊重の精神を育て、人間性豊かな社会の発展に役立つことを目的とし、活動しています。

Welcome to the **WBSJ—Saitama** website

当会について

探鳥会

- [探鳥会へ行こう！](#)
- [今月の探鳥会](#)
- [探鳥会の予定](#)
- [探鳥会開催地](#)

野鳥保護活動

野鳥Q&A

- [ヒナを見つけたら？](#)
- [怪我をした鳥は？](#)
- [野鳥は飼っていい？](#)
- [その他のQ&A](#)

調査・研究報告

普及・サポート

会報『しらこぼと』

埼玉県の野鳥

- [埼玉県鳥類リスト](#)
- [30年間の記録](#)
- [『しらこぼと』記事より](#)

販売物のご案内

野鳥の画像(毎月)

今月の写真

会報『しらこぼと』2015年7月号表紙より



これまでの『今月の写真』はこちらをご覧ください。

【キバシリ】

スズメ目キバシリ科キバシリ属

今年の4月26日、横瀬町にある埼玉県民の森で撮影しました。

佐藤久志(狭山市)

探鳥会風景

- 🕒 2015年06月21日 [さいたま市 三宅地区定例探鳥会](#) **NEW**
- 🕒 2015年06月14日 [坂戸市 高麗川探鳥会](#)
- 🕒 2015年06月13日 [さいたま市浦和博物館主催「親子探鳥会」](#)
- 🕒 2015年06月07日 [さいたま市 民家園探鳥会](#)
- 🕒 2015年05月30日 [加須市 加須はなさき公園探鳥会](#)
- 🕒 2015年05月24日 [狭山市 入間川定例探鳥会](#)
- 🕒 2015年05月17日 [さいたま市 三宅地区定例探鳥会](#)
- 🕒 2015年05月16日 [草加市 草加探鳥会](#)

【トップページ】

手作り感を重視し、今までの良さを踏襲して、分かり易い見出しとしました。

当会の説明に始まり、多くの方に参加頂けるように探鳥会の内容を充実させ、入会案内、販売物の紹介、更に探鳥会風景としてその時々楽しんでいる様子を公開するようにしました。

当会が行っている野鳥保護活動、普及・サポートをタイムリーに紹介し、初心者の方が疑問に思っていることに、どのように行動したらよいかを野鳥Q&Aにまとめました。

当会が行ってきた調査・研究の一部(シギ・チドリ、ガンカモ、ワシタカの調査)や埼玉県で観察された野鳥情報の他、会報『しらこぼと』のバックナンバーをpdf化して公開しています。

【探鳥会 今月の探鳥会のページ】

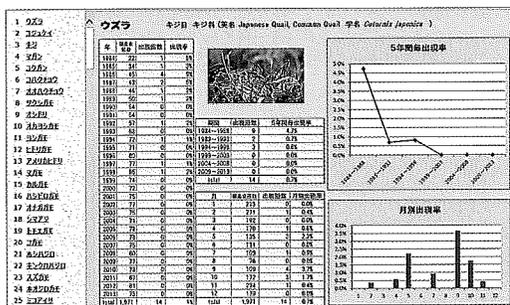
月毎に行われる探鳥会の開催予定を、その月の初めに公開しています。

探鳥会でホームページを見て参加された方、県外からの方もいるようで、大変うれしく思います。このページが一番人気で、多くのアクセスがありますので、しっかりと更新していきます。

野鳥保護会・奈良県北水地区探鳥会	
期日	7月5日(日)
集合	午前8時15分、奈良日光段原森野大前駅。または午前8時35分、思い出館駐車場。
交通	奈良駅西徒歩7.21→百太郎7:35→奈良橋7:52乗。7:53新橋本行Aに乗り換え奈良大前8:09着。またはJR宇陀線大宮7:03→奈良7:38着。奈良駅7:57新橋本行Aに乗り換え。
解散	午前11時30分ごろ。谷中塚川河口の展望台付近の解散。
見どころ	30名を中心としたリリイやヨシゴイ、そしてカワフ、コンドリなどを狙います。今年ハオセツカの声が聞かれるでしょうか？ 梅雨の季節です。暑さへの対策は忘れぬ様。

原谷市・大原生定例探鳥会	
期日	7月12日(日)
集合	午前8時20分、秩父鉄道大原生駅。
交通	秩父鉄道原谷8:00発。または新原7:30発に乗り。
見どころ	当会の歩みの管理を担っている大原生探鳥会。鳥がいていていなくて、それも貴重なアートの風景です。暑さにも風になる季節です。無理をせず。のんびり歩きましょう。
ご注意事項	集合時刻が、今年から9月までは最終時刻です。飲み物の準備、必要方はUV対策をお忘れなく。

【埼玉県の野鳥 30年間の記録のページ】



過去の探鳥会での記録を基に、種毎(200種超)にどう推移してきているかが一目で分かります。30年間で減少或いは増加している種、今まで感覚として抱いていたことが、現実としてはっきりとデータで示されています。

例えば、シラコバトは激減で、オオバンは激増しているのが見て取れます。

また、年間を通して留鳥、夏鳥、冬鳥、季節により違いがあるのかも良く分かります。

皆様もご自身の感覚と差があるのかどうか見ていただくと、新しい発見があるかもしれません。

【探鳥会 探鳥会開催地のページ】

会報『しらこぼと』ではちょっと分かりにくい、探鳥地の集合場所や探鳥コースを補完するように、リーダーの皆様の協力のもとに作成しました。

ワンクリックで集合場所が地図で示されるようになっていきますので、初めての方でも安心して集合場所に向かうことができます。

更に、コース図や見所なども紹介され、参加される方に興味を持ってもらえるように工夫が施されています。



このページが2番人気となっています。各リーダーの皆様に感謝です。

【探鳥会風景のページ】

1人でも多くの方に参加してもらえるように、和気あいあいと楽しく探鳥会が行われている様子を紹介しています。

他の支部にはない当会オリジナルで、やはり人気が高く、掲載直後のアクセスは多く、皆様の関心の高さが分かります。

このページを見て、楽しそうだから探鳥会に参加してみよう、行ってみたいと思ってもらえたら嬉しいです。



【その他のページ】

「野鳥の画像(月毎)」や「動植物のページ」には会員の皆様から投稿された素晴らしい写真が掲載されています。

また、「野鳥ギャラリー」では手作りの素敵な作品(イラストや石絵)を写真で紹介しています。こちら是非ご覧ください。

【ご投稿お願いします】

皆様からの、投稿を受け付けておりますので、是非、お寄せください。

野鳥の写真はもとより、動植物、手作り作品などの写真もお待ちしております。

珍鳥、珍種等は除いてタイムリーに掲載してまいりますので、よろしく願います。

【ご意見をお寄せください】

ホームページのリニューアルから1年が経ちました。皆様のご協力でここまでやってきましたが、今後、更に充実したホームページにしていきたいと思っています。皆様からのご意見、アイデアを是非ともお寄せくださるようお願いいたします。

「地名の鳥Ⅲ」～埼玉県の巻(上)～

石光 章(所沢市)

地名の鳥の旅、今回は青森県から渡り鳥並みに一気に約600km飛んで、地元・埼玉県です。埼玉にも地名の鳥が沢山居ました。

鶴は勿論、鷺、鷹、鴨、鶉、目白等、鳥種は豊富です。他県に比べて目立つのは**鳩**。川口市鳩ヶ谷、加須市鳩山町、比企郡鳩山町と、鳩の地名が3か所もあります。県民の鳥がシラコバトで、やはり埼玉は鳩と縁が深いのかと勝手に推量していましたが、実のところは…。

川口市の鳩ヶ谷は2011年の合併までは鳩ヶ谷市でした。地名の由来には幾つかの説があります。①鎌倉時代に一带を治めていた地頭職・鳩谷氏の名によるとの説、②平安時代の記録に「武蔵国発度郷」の地名がありハトゴウあるいはハットゴウと呼ばれ、後に鳩の字が当てられたとする説、③大宮台地の先端部すなわち端(ハシ)がハトに転訛し鳩の字が当てられたとする説、④かつて旧・入間川の水運の要地だったことから「波止場」のハトに由来するという新説も注目されています。「谷(ヤ)」は谷状の地形のことです。それぞれ説得力があり判断出来ません。お好きな説をお選びください。

比企郡の鳩山町(マチ)にも諸説あります。時は南北朝時代。鎌倉幕府を倒した新田軍と足利軍が武蔵野の各地で戦闘を展開。新田軍が自陣に旗指物を立てた山を「旗山」と呼んだのが転じて「鳩山」になったと解する説。または、地理的に端の方の山という意味の「は(端)、と(処)、やま(山)」が「鳩山」になったとする説です。鳩ヶ谷の③と言いこの説と言い、地形が由来の地名は全国各地に見られます。

一方、加須市の鳩山町(チョウ)は、ハトが由来のようです。昔この地に寺や神社があり、周囲の林に山鳩(キジバト)が群棲していたことから鳩山と呼ばれていたと伝えられています。

鳩の次は**雀**。大里郡寄居町に「雀宮(スズメノミヤ)公園」があります。厳密に言うと地名ではありませんが、七代目松本幸四郎(現幸

四郎の祖父)が大正時代に建てた別邸「雀亭」の跡地を町が借り受け、公園として昨年12月から一般に公開しています。荒川に掛かる正喜橋の下流左岸に位置し、玉淀河原探鳥会のコース沿いです。名優の誉れ高い七代目が、別邸に何故「雀」の字を冠したかは調べきれませんでした。

入間郡毛呂山町に「目白台」があります。**目白**がつく地名は全国に散見されますが、要注意です。鳥好きは即メジロをイメージするでしょうが、目白不動が由来とされる例が多いのです。東京の目白も不動さんです。お不動さんには、目の色で5つに分けられる五色不動(目黒、目白、目赤、目青、目黄)があり、なかでも目黒、目白が地名となっている場所がかなりあります。でも、毛呂山町の目白台はメジロでした。この地域は平成5～9年に開発された新しい住宅地で、開発業者が町の鳥メジロにちなんで目白台と名付けたようです。

東松山市に「下青鳥(シモオオドリ)」という珍しい地名があります。ここも由来は諸説ありますが、当地にあり板碑で知られる浄光寺の縁起に「開山の覚詮師がこの地に来た時、青い鳥がいたので聖地として寺を建立した」とあることによるとの説を紹介しておきます。気になる青い鳥は何か? 詳細は不明です。ご随意に想像してください。私はサンコウチョウを思い浮かべました。昔この辺りにはサンコウチョウもぎらに居たようですから…。

次回も埼玉で地名の鳥を探します。鴻巣市、川越市連雀町、桶川市鴨川、久喜市鷺宮、鶴ヶ島市等々ネタはまだあります。

今回も駄作を一首

「荒武者が旗を立てたる戦の地
戦活まり『鳩山』となる」

我が家のキジバト営巣記

榎本秀和（鴻巣市）

我が家の窓辺には、夏の日除けのために葡萄棚がしつらえてある。

本年6月14日、この葡萄棚にキジバトが営巣・抱卵しているのに気付いた。何日か前から、ずいぶん近くからキジバトの大きな声が聞こえていたのは、さては「営巣宣言」だったのか。いつも小枝が落ちていたのは、ハトが巣材をこぼしていたということだ。

巣は地上から2.5メートルぐらいの高さにあり、1階のガラス戸越しに観察できる。ウチじゅうがハトを気遣いながら、雛が孵るのを心待ちに過ごしていた。じつと抱卵を続けるハトの、忍耐力・集中力には頭が下がるばかりだった。

事件が起きたのは、6月23日午後4時ごろ。ドドッと大きな羽音を立ててハトが飛び出して行った。私は、♂と♀のいつもの抱卵の交代だと思った。しかし、このときは交代のハトの姿はなく、巣はオープンのまま。この際にクラッチサイズ（一巣卵数）の確認を…、と巣をのぞき込んだ私はびっくり仰天。なんとアオダイショウがうごめいていたのだ。ハトが飛んだのはこいつのせいかな！

長さは1メートルもなく太さも2センチほど。小振りでも青みもないが、樹上の鳥の巣を狙う蛇はアオダイショウしかいない。私は玄関にあった傘をつかんで庭に飛び出し、葡萄棚にからんでいる蛇を追い払おうとしたが、蔓を伝って逃げまわるだけで巣から遠ざけることができない。鎌首をもたげて口をカット開き、ガラガラヘビのように尾を打ち鳴らして威嚇してくる。壁面を登って手の届かない高さに逃げてしまったので、今度は水道からホースを延ばして放水攻撃。15分ほどの攻防の末、ようやく巣から離れた低い植え込みの中に追い落とすことに成功した。

蛇との格闘の最中、キジバトは向かいの家のTVアンテナにいた。鳴きながら我が家の前の電線に降りてきて、さらに葡萄棚の梁に止まり、巣に放卵姿勢で再びうずくまったのはアオダイショウ撃退の5分後だった。

しかし、それもつかの間、その15分後、ハトは何か異状を覚えたらしく飛び去ってしまった。そのあと、巣に戻ってくることはなかった。ああ、卵をやられてしまっていたのか。蛇が威嚇してきたとき、口から飛び出た粘液状のものは吐き戻した卵の中身だったのかもしれない。

というわけで、我が家のキジバトの営巣は残念な結果となったが、だからといってアオダイショウを憎む気にもならない。弱肉強食のドラマをまのあたりにして、私はまたひとつ勉強をした。

はみ出し行事案内

東京都日野市・多摩動物公園探鳥会 (要予約)

期日：10月25日（日）

集合：午前10時45分、多摩動物公園内ウォッチングセンター前。

交通：JR武蔵野線西国分寺駅で乗り換え立川駅下車。徒歩約7分の立川南駅から多摩モノレール線で多摩動物公園駅。一般64歳以下の方は、立川南駅から多摩モノレールセット券（入園券込みで1,000円）がお得。

または、府中本町から南武線分倍河原。京王線に乗り換えて、高幡不動経由多摩動物公園駅。

または、新宿駅から京王線約40分。

入園券：一般600円、65歳以上（年齢証明必要）300円、中学生（生徒手帳必要）200円。

解散：午後3時ごろ。多摩動物公園内フライングケージ付近。

定員：20名（応募多数の場合、先着順）。

申し込み：往復はがきに住所、氏名、電話番号を明記して、入山博（

）まで。9月1日消印から有効受付。

担当：入山、石塚、柴野、野口（由）

見どころ：多摩動物公園の協力を得て、いろいろな催しを計画しています。イヌワシ等、あまり見る事ができない鳥たちを、目の前でじっくり見たいと思います。

その他：雨天決行。昼食・雨具持参。



野鳥情報

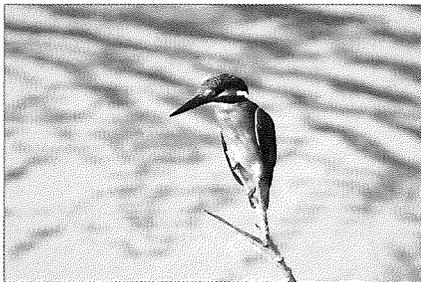
鴻巣市大間 ◇数年ぶりに我が家にツバメがやって来た。4月29日頃から抱卵を始め、5月12日頃に第1羽が孵り、計4羽。6月1日に巣立ち。ほっとしたけど少し寂しい(中村圭子)。

蓮田市黒浜 ◇5月4日、上沼でオオヨシキリがあちこちに。コガモがまだいた。マガモ、カルガモ、カワセミ、バン、セッカ、カワウなど(本多己秀・久文子)。◇6月18日午前9時頃、ゴイサギ2羽、アマサギ5羽、アオサギ2羽、ダイサギ2羽、チュウサギ3羽、コサギ2羽。同時にサギ類6種類が見られた(菊川和男)。

川島町虫塚 ◇5月5日午後5時頃、水を入れ始めた水田にムナグロが5羽降りていた(森本國夫・陽子)。

さいたま市中央区与野公園 ◇5月5日、弁天池でカルガモ親子。幼鳥は10羽で、全長12cm位か。母ガモは幼鳥たちをすつぽりと抱いて、地べたに座り休息する間も警戒怠りない様子。池では、はぐれた1羽の子ガモが甲羅干し中のアカミミガメの背に乗り、羽繕いをしていた。他に左の翼を傷めたマガモ♀1羽とマガモ♀エクリプス? 1羽(大塚純子)。

さいたま市桜区上大久保 ◇5月5日、作田調整池でカルガモの親子、幼鳥3羽。6月12日、池の端の鉄製電柱(径約10cm)の中でシジュウカラが営巣中。地上1.5m位の所にある小さな穴が親鳥の出入口で中からヒナの声が聞こえた。池では、5月半ばに今季2組目のカルガモ親子が現れたが、その



新河岸川のカワセミ(プリングマン ウイリアム)

後、半月足らずで8羽のヒナ全員が姿を消し、現在見られる幼鳥は5月初めからいる1羽のみ(大塚純子)。

さいたま市岩槻区掛 ◇5月6日、田圃でムナグロ33羽、タシギ1羽(鈴木紀雄)。◇5月8日午後3時頃、水の溜まりだした田圃でムナグロ50羽前後、その中に混ざってキアシシギ4羽、少し離れてカルガモ数羽。更にヒバリが上空で轉り、ツバメが数羽飛び交っていた(菊川和男)。◇5月10日午前6時、ムナグロ22羽、ダイサギ、キアシシギ1羽(本多己秀・久文子)。5月11日午前6時40分、ムナグロ約80羽、1枚の田にいた。80羽は今までで一番多い(本多己秀・久文子)。

秩父市浦山口 ◇5月9日、スズメ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、アオゲラ、エナガ、ツバメ、トビとハシブトガラスの空中戦。カワウ、カルガモの飛行、ウグイス、イカル、キビタキ。夕刻、上空にイワツバメの群れ。ガビチョウが多くてうるさい。夜中、アオバズクの声。5月10日、浦山口～武甲山登山道でヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒガラ、コガラ、エナガ、ツバメ、トビ、ハシブトガラス、カワウ、ウグイス、イカル、キビタキ。オオルリは間近で轉り。溪流からはミソサザイの美声が響く。ヤブサメ、センダイムシクイ、ツツドリの声(鈴木紀雄)。

さいたま市西区～大宮区の鴨川 ◇5月10日、植田谷堰の上流側でマガモ♀エクリプス? 1羽。与野公園の個体と同一か。6月6日夕方、島根橋下の鴨川でカルガモのペアが子ガモ(孵化後2～3週位か)を伴い、川を下っていた。6月24日、島根橋の下で居残りのオナガガモ♀1羽とマガモ♀1羽が連れ立って採餌。6月30日、根切橋近くの岸の倒木でササゴイ1羽、白い液状糞をピューッと放ち、飛び去った。他にカイツブリ幼鳥3羽、イソシギ2羽、カワセミ1羽など。植田谷堰から上流学校橋までの左岸一帯のアシにツバメが多数群れ集う(大塚純子)。

さいたま市岩槻区馬込 ◇5月10日午前6時

30分、ムナグロ42羽（本多己秀・久文子）。
蓮田市川島 ◇5月10日午前7時頃、ムナグロ28羽、当地では初見。カエルの声がなごやか（本多己秀・久文子）。

さいたま市見沼区丸ヶ崎 ◇5月11日午前6時10分頃、ムナグロ約30羽、40m位上空を編隊飛行。ヒバリ、ツバメ、アオサギなど（本多己秀・久文子）。

さいたま市岩槻区金重 ◇5月11日午前6時50分、チュウサギ2羽（本多己秀・久文子）。

さいたま市西区島根 ◇5月11日、水田でムナグロ50羽＋、キアシシギ3羽。5月23日、水田でキアシシギ12羽、中間羽のムナグロ1羽。他に、ここでもマガモ♂エクリプス？1羽、胸が赤褐色のカルガモ？2羽。このカモ達は羽や嘴の色、尾羽の形状などに多少マガモ♂の特徴がみられるので、マガモとカルガモの交雑個体か？（大塚純子）。

さいたま市桜区在家 ◇5月13日、文明堂カステラ工場裏手の水田の畔でキアシシギ8羽が並んで夕日を浴びていた（大塚純子）。

さいたま市見沼区見山 ◇5月16日、チョウゲンボウ♂1羽が低空でホバリング。車で近づいても逃げず、じっくり観察できた（鈴木紀雄）。

渡良瀬遊水地 ◇5月17日、カッコウ、セッカ、ホオジロ、ウグイス、オオヨシキリ、コヨシキリ、オオセッカなど。各地で減少と伝えられるコヨシキリ健在。オオセッカもすっかり定着か？モズが自分より長いトカゲをくわえて尾をフリフリ。5月24日、谷中湖でコアジサシが飛び交う。アシ原でウグイス、ホオジロ、セッカ、オオヨシキリ、コヨシキリ、オオセッカ。カッコウがオオヨシキリに追われながらも、のどかに鳴きながら飛翔。ヨシゴイ2羽飛ぶ。ホトトギスの声。アシ原の上を飛ぶサンカノゴイを発見。車で追うも見失う。長時間飛んでいた。ササゴイ3羽飛ぶ（鈴木紀雄）。

加須市はなさき公園 ◇5月26日、オオヨシキリの囀りが賑やかな中、ヒバリ、セッカ、シジュウカラ、カワラヒワが囀った。他にコチドリ、チョウゲンボウ、キジ、ダイサギ、アオサギ、ゴイサギなど（長嶋宏之）。

久喜市本町7丁目 ◇6月1日、甘棠院史跡公園でサギのコロニーを観察。こんな街中にあることにビックリ。ゴイサギが最も多く、ダイサギ、チュウサギ、コサギも繁殖。地元の方の話では、30年間位はコロニーがあるとのこと（鈴木紀雄）。

さいたま市桜区大久保領家・五関 ◇6月9日夕方、鴨川にかかる学校橋付近でイワツバメ5～6羽、橋板の裏側に巣があるらしい（大塚純子）。

さいたま市岩槻区本町 ◇6月16日、東武野田線岩槻駅前の区役所ビルで屋上や照明にとまったり、飛び回る計5羽のチョウゲンボウ。♂♀のつがいと巣立った若鳥か？（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区野孫 ◇6月17日、水田でケリ3羽。他にダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギ（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇6月17日午後1時30分～3時、上空を飛ぶツバメが、いつもと違う動きをしている。双眼鏡で見ていると、一瞬止まってホバリングしたかなと思った瞬間スピードを上げ、あっという間にトンボを捕まえた。横からではなく上から下に捕まえに行った。以前に、池の上で、ゆったりと飛んでいるトンボを横から猛スピードで捕まえる瞬間を何回か見たことはあったが、新しい発見だった。ムクドリの声が大きく聞こえたので空を見ると、チョウゲンボウだった。かなり遠くの鉄塔でちょっと一休みしてから飛び去った。シジュウカラの幼鳥の姿が多く見られた（菊川和男）。

さいたま市桜区大久保農耕地B区 ◇7月3日、雨の中、ツバメが飛び回り、多くのオオヨシキリがあちこちで鳴いている。時折、ヨシゴイが飛ぶ。しばらく追いかけてあうヨシゴイ2羽を観察（鈴木紀雄）。

表紙の写真

スズメ目ヒタキ科ツグミ属マミチャジナイ

昨年10月の戸隠探鳥会。参加者の皆さんはもちろん、いつもは忙しいメインリーダーも、ゆっくり撮影する余裕がありました。

菱沼一充（白岡市）



行事案内



ダイサギ

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。

初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止。小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意をお願いします。

リーダー研修会(要予約)

期日：9月6日(日)

詳細は8月号をご覧ください。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：9月13日(日)

集合：午前8時20分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道熊谷 8:00 発、または寄居 7:39 発に乗車。

担当：千島、新井、鶴飼、倉崎、田島、飛田、中川、村上、茂木

見どころ：残暑は厳しいですが、元気な留鳥と南へ移動中の夏鳥を探しましょう。昨年はコサメビタキに会えました。

ご注意：今月まで、集合の早い夏時間です。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：9月19日(土) 午後3時～4時ころ

会場：会事務局 108 号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：9月20日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ（ご注意：案内人は8時過ぎに北浦和駅東口に到着予定です）。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：柴野、青木、赤堀、浅見(健)、浅見(徹)、

石塚、楠見、小菅、小林(み)、須崎、新部、島山、増田

見どころ：芝川を渡る風や身近な鳥たちの生活に秋の気配は感じられるでしょうか。三室を通過する渡り鳥にも会えることを期待。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：9月20日(日)

集合：午前8時、東武越生線川角駅前。

交通：東武東上線川越7:20(準急)→坂戸で越生線乗り換え7:40発。または寄居6:44→小川町乗り継ぎ、坂戸で越生線乗り換え。JR埼京線大宮6:37→川越で東武東上線乗り換え。

担当：山口、久保田、志村、鈴木(秀)、高草木、藤掛、藤澤、持丸

見どころ：昨年9月は、ノスリやオオタカの猛禽類、カケス、イカル、アオゲラなどが参加者を喜ばせてくれました。今年も期待。

長野県・白樺峠、乗鞍(畳平)探鳥会(要予約)

期日：9月21日(月・祝)～22日(火・祝)

詳細は8月号をご覧ください。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：9月23日(水・祝)

集合：午前9時30分、松伏記念公園北口駐車場。

交通：東武伊勢崎線北越谷駅東口、①番バス乗り場から、8:57 発、茨城急行バス「エロ

ーラ行き」乗車。松伏高校前で下車して、道の反対側の駐車場へ。

担当：田邊、植平、佐藤、佐野、進士、野村(修)、野村(弘)、橋口、森下、吉岡

見どころ：稲刈りの後を追って餌取りに夢中のサギや、ムクドリ、スズメ等が皆さんを待っています。ヨシゴイやアカガシラサギの出現記録もある場所です。立ち寄るノビタキや渡ってくるコガモも楽しみ。

シギ・チドリ類調査

期日：9月23日(水・祝)

野鳥の会埼玉では、春と秋の2回、独自にシギ・チドリ類の調査を行っています。多くの会員の参加・ご協力をお願いします。

◆ 大久保農耕地(さいたま市)

集合：午前9時30分大久保浄水場の北西角近くの土手の上、荒川総合運動公園入口。

担当：石井

解散は昼頃の予定。調査のため参加費不要。小雨決行ですが、大雨や悪天候の場合は中止します。浦和駅西口②番バス乗り場から8:33発「大久保浄水場」行きバスで終点下車、徒歩約15分。シギ・チドリ類が大変少ないこともあります。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：9月27日(日)

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越 8:42 発、所沢 8:39 発に乘車。

解散：正午ころ、稲荷山公園。

担当：長谷部、石光、久保田、高草木、中村(祐)、藤掛、星、水谷、山口、山本(真)

見どころ：冬鳥には少し早いこの季節。ツバメを見送ったり、渡り途中の鳥を探したり、花を見るのもいいですよ。

タカの渡り調査

毎年行う大切な定点観測です。初めての方も大歓迎。雨天(小雨でも)中止。調査のため参加費不要。いずれも調査時間内のご都合のよいときに、各調査地点にお出かけ下さい。

◆ 天覧山展望台(飯能市)

日時：9月27日(日) 午前9時～正午まで。

頂上から3分ほど下った所に水洗トイレがあります。

交通：西武池袋線飯能駅から徒歩約30分。

担当：鈴木(秀)

見どころ：サシバ、ハチクマ等の渡りにオオタカ、ツミ、ハイタカ、ノスリや、チゴハヤブサ、ミサゴなどが混じるかも。上昇気流に乗り舞い上がるタカ柱に期待。

◆ 中間平(ちゅうげんだいら)展望台(寄居町秋山)

日時：9月27日(日) 午前8時～正午まで。

交通：車で寄居町から294号線を東秩父方面に向かい、途中で右に入ります。登る途中に老人ホームあきやま苑があります。中間平緑地公園の中にあり道路脇の展望テラスです。駐車場、トイレあり。

担当：千島

見どころ：昨年はピークが19日と早かったのでサシバは1羽でしたが、ツミ、ハヤブサが飛びました。

長野県・戸隠高原探鳥会(要予約)

期日：10月24日(土)～25日(日)

集合：24日午前9時、長野駅コンコース新幹線改札口を出て右側。

交通：長野新幹線「あさま601号」(東京6:52→大宮7:18→熊谷7:31→高崎7:49→長野8:41着)、または「かがやき505号」(東京7:20→大宮7:46→長野8:46着)

解散：25日午後4時ころ、長野駅前。

費用：12,000円の予定(1泊3食、現地バス代、保険料など)。過不足の場合は当日精算。

集合地までの往復交通費は各自負担。

定員：25名(先着順、埼玉会員優先)。

申し込み：往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、喫煙の有無を明記し、菱沼一充()

まで。9月1日消印から有効受付。

担当：菱沼(一)、浅見(徹)、菱沼(洋)、藤掛

見どころ：昨年はムギマキとマミチャジナイをたっぷり楽しみました。今年も期待。

ご注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室の用意はできません。



行事報告

2月14日(土) 上尾市 丸山公園

参加: 29名 天気: 晴

マガモ カルガモ ホシハジロ カイツブリ キジバト カワウ ヒメアマツバメ ノスリ カワセミ コゲラ アカゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (32種) 雪化粧した富士山をバックにノスリが悠々と舞い、ヒメアマツバメが3羽上空を飛び、ベニマシコ、アオジ、シメなどの冬鳥を堪能した。カワセミを全員で見、ホシハジロを観察できたのもよかった。

(野口由美子)

2月14日(土) さいたま市 岩槻文化公園

参加: 39名 天気: 晴

マガモ カルガモ コガモ キジバト カワウバン セグロカモメ カワセミ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ルリビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ ウソ シメ カシラダカ アオジ (31種) (番外: ドバト) 出発早々に、水場でウソの群れが登場して参加者から歓声があがる。その後、キセキレイやルリビタキも全員で観察する。村国池では30分以上もカワセミが出ずっぱり。さらにはルリビタキのメスに加えて、数名がオスも見ることができた。前半の予想以上の小鳥類の出現で、後半の元荒川沿いのプレーキテストコース跡は短縮して切り上げる。それぞれの鳥を参加者各自がしっかり観察できて、久々に充実感のある探鳥会であった。

(長野誠治)

2月15日(日) 本庄市 坂東大橋

参加: 25名 天気: 晴

キジ オカヨシガモ ヨシガモ マガモ オナガ

ガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ホオジロガモ カワアイサ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ オオバン セグロカモメ ミサゴ トビ ハイタカ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (41種) (番外: ドバト) ヒバリの囀りを聞き、ツグミ、シメ、アオジなどを見ながら土手を進む。トビ、ノスリ、ミサゴ、ハイタカ、オオタカ、ハヤブサ、チョウゲンボウと猛禽が次々と現れ、皆興奮。小鳥は少なかったが、ベニマシコを全員で見た。河原ではミコアイサが留守で残念だったが、カワアイサ、ホオジロガモなどカモ9種を観察。赤城おろしが冷たかったが、満足。(新井 巖)

2月15日(日) さいたま市 三室地区

参加: 48人 天気: 晴

キジ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ コサギバン オオバン イカルチドリ オオタカ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (33種) (番外: ドバト) 気持ち良い晴天。畑にはツグミ、ホオジロ、モズ、ヒバリが盛んに餌を探している。オオタカは近くで見られず残念だったが、全員で「見沼の風景」を堪能した。休憩後、風が強くなり観察には不向きな状況になったが、芝川にイカルチドリ (2羽)。先月の探鳥会に続いての観察だった。(須崎 聡)

2月15日(日) 志木市 柳瀬川

参加: 38名 天気: 晴

ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオバン イカルチドリ タシギ イソシギ オオタカ カワセミ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツグミ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ シ

メ カシラダカ アオジ (36種) (番外: ドバト) 北風が強かったが、小学生を連れて父親、幼児をベビーカーに乗せた母親、そして柳瀬川が初めての人など、参加者が多かった。コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、カシラダカは多かったが、他の野鳥達の個体数は少なかった。それでも種類は例年並みに観察できた。カワセミも数回姿を見せてくれ、セキレイ4種確認できた。(持丸順彰)

2月21日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 13名

相原修一、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、小林みどり、志村佐治、藤掛保司、増尾隆、松村禎夫、森本國夫、山口芳邦、吉原早苗、吉原俊雄

2月22日(日) 群馬県 小根山森林公園

参加: 34名 天気: 晴

キジバト カワウ トビ コゲラ ハヤブサ カケス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ エナガ メジロ ゴジュウカラ ミソサザイ カワガラス スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ ホオジロ カシラダカ ミヤマホオジロ (25種) (番外: ガビチョウ) 今年の探鳥会は、「雪がな—い」。しかもポカポカ陽気で少し暑い。小根山森林公園にのぼるまでは余り鳥が現れず、山吹の郷でも、ベニマシコの姿は見られなかった。公園に上がって、餌台に来たミヤマホオジロを見る事が出来た。今年も公園職員の方が暖かい味噌汁で歓迎してくれた。いつもありがとうございます。(入山 博)

2月22日(日) 東松山市 物見山

参加: 21名 天気: 曇

コガモ キジバト イソシギ カワセミ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ カヤクグリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ベニマシコ ウソ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (30種) (番外: ガビチョウ) 開始時間になると駐車場入口の斜面にビンズイ2羽とアオジ1羽が現れ、じっくり見ることができた。市民の森ではヤマガラが松の高いところを鳴きながら移動、シロハラが

地面で採餌。谷津に下りるとハクセキレイ、セグロセキレイ、ツグミ、カシラダカの群れ、ホオジロの群れがいて、ヒヨドリが白菜を食べていた。ベニマシコが鳴き、水路沿いの低木の上でチリりとカヤクグリが鳴く。カワセミが水際にとまり、コガモのペアもいた。参道でジョウビタキ♀、岩殿観音でシメ、メジロを見て、物見山に登って行くと、待っていてくれたように山頂の桜の木でウソ♀9羽が蕾を食べていた。(千島康幸)

3月1日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加: 20名 天気: 曇

キジ マガモ カルガモ コガモ ホシハジロ カイツブリ キジバト アオサギ クイナ オオバン タシギ カワセミ コゲラ アカゲラ チョウゲンボウ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ ホオアカ カシラダカ アオジ オオジュリン (35種) 心配された雨もなんとか降らず、出発出来た。気温が低くて寒かったが、柳の新芽を食べている赤いオスを含む7羽のベニマシコ、稲の切り株の間に潜むタシギ、獲物の野ねずみを電線の上で食べるチョウゲンボウや、1本の木に止まったアカゲラ雌雄など、予想以上に贅沢な探鳥会になった。(玉井正晴)

3月8日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 18名 天気: 小雨

コジュケイ キジバト カワウ オオタカ コゲラ アカゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ヒレンジャク ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (30種) (番外: ガビチョウ) 小雨模様で開催を迷っていたが、熱心な皆さんが次々とやってきて18名にもなった。スコープ、双眼鏡に雨滴が付いて見にくいが見慣れた鳥たちをながめながら野鳥の森へと急ぐ。今日の狙いはレンジャクだ。森に入って程なく、いました! 葉のない木にヒレンジャクが鈴なりでじっとしていた。その数46羽。中止しないでよかったあ。(新井 巖)



連絡帳

● 「見沼たんぼの野鳥たち」好評で増刷

5 月号本欄でご紹介した「見沼たんぼの野鳥たち」を掲載して、さいたま市見沼田圃政策推進室が発行した『見沼たんぼ見どころガイド 2015』。好評で、6 月上旬には早くもなくなってしまうとのこと。急遽最初の発行部数と同じ 10,000 部が増刷され、7 月 21 日(火)には、500 部が当会事務局に届けられました。

● 武蔵丘陵森林公園第 3 回地域懇談会

6 月 22 日(月)、藤掛保司と小林みどりが出席、園内の整備方法に関する議論などに、意見を述べました。

● 会員の普及活動

7 月 15 日(水)、NPO 法人「国際自然学校」埼玉校、専科コース野鳥観察講座第 2 回が、千葉県習志野市谷津干潟で開催され、小林みどり、石光章、榎本秀和が、鳥の羽の役割、メンテナンス、換羽などについて指導。受講者 16 名。

● 記録映画『鳥の道を越えて』上映会

9 月 26 日(土) 午後 1 時 30 分～4 時 00 分、我孫子市手賀沼親水広場・水の館 3 階研修室で、今井友樹(映画監督)、佐藤文男(山階鳥類研究所研究員)のトークと上映会が開かれます。詳しくは、(公財)山階鳥類研究所のウェブサイト <http://www.yamashina.or.jp/> をご覧ください。

● 会員数は

8 月 3 日現在 1,757 人。

活動と予定

● 6～7 月の活動

6 月 27 日(土) IT 委員会。HP アクセス数 1 日 50 名程度で推移している。1 日 100 名を目標にしたい、など。

7 月 4 日(土) 普及部会。「9-12 月行事予定」「普及部だより」を、全リーダーに発送作業、など。

7 月 11 日(土) 『しらこぼと』 8 月号校正(大坂幸男、小林みどり、志村佐治、長嶋宏之)。

7 月 19 日(日) 役員会(司会:菱沼一充、各部の報告、関東ブロック協議会準備・その他)。

7 月 21 日(火) 『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』 8 月号を郵便局から発送(海老原美夫)。

7 月 27 日(月) 10 月に開催予定の関東ブロック協議会に関し、第 2 報を構成団体に発信(小林みどり)。

● 9 月の予定

9 月 5 日(土) 編集部会。普及部会。

9 月 12 日(土) 10 月号校正(午後 4 時から)。

9 月 19 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

9 月 20 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

8 月号の校正は、ひさしぶりに欠席。すっかり大船にお任せして、心安らかに旅に出ることができた。みんなの協力がうれしい。(海)

原稿も集まり、さて編集作業に取り掛かろうとしたその日に、自宅のパソコンが突然クラッシュ。しかし、今回も執筆や編集部一人ひとりの協力を得て、9 月号の発行までこぎつける事が出来た。あわせて、日常生活のかなりの部分をパソコンに依存している危うさを膚で感じた体験であった。

(山部)

しらこぼと 2015 年 9 月号(第 377 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉(〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
 郵便振替 00190-3-121130 <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社